記入例

（日本産業規格Ａ列４番）

様式第２号（表）（第 34 条関係）

①　　年　　月　　日

稲城消防署長 殿

住　所

②　申告者　　職業（職）　　電話

氏　名

動　産　り　災　申　告　書

1	り災年月日	③　　年　　月　　日		り災物件と申告者との関係	④ 所有者・管理者・占有者	
	り災場所	⑤　　市　　丁目　　番地				

⑥ 2	世帯員	氏　　名	続柄	年　齢	性　別	氏　　名	続柄	年　齢	性　別
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女

⑦ 3	火災保険	契約会社名	契約年月	保険金額（円）

⑧ 4	り　災　物　件				
	品　　名	数量	り災別	損害見積額　又は　購入時価格（円）	
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）
			焼損・爆発・その他		（使用　　年）

（日本産業規格Ａ列４番）

様式第２号の２（第 34 条関係）

り　　災　　物　　件				
品　　名	数量	り　災　別	損害見積額　又は　購入時価格（円）	
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
⑧		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）
		焼損・爆発・その他		（使用　　年）

動産り災申告書記入例

① **申告年月日：**申告書を提出する年月日を記入してください。

② **申告者：**申告する人の住所、職業（又は役職名）電話番号及び氏名を記入してください。

③ **り災年月日：**火災があった年月日を記入してください。

④ **り災物件と申告者との関係：**り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを〇で囲んでください。

⑤ **り災場所：**火災があった住所を記入してください。

⑥ **世帯員：**火災等のあった建物に住んでいる世帯員を記入してください。

⑦ **火災保険**

⑴　火災保険の加入が数社ある場合は、契約会社別にすべて記入してください。

⑵　保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。

⑧ **り災物件**

⑴　品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。

例）　背広３、くつ類30、下着類50、食器類150、本300、化粧品80等

⑵　り災別の欄は、あてはまるものを〇で囲んでください。

焼　損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化，溶融，破損したものなど

爆　発：爆発により、壊れたものなど

その他：消火のために受けた水損，破損，汚損など，煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

⑶　損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積もり、点線の左欄に記入してください。また、損害額が見積もれない場合は、点線の右欄に購入時の価格と（使用年）内に使用年数を記入してください。

なお，使用年数は整数とし、１年未満の端数は切り捨てとします。